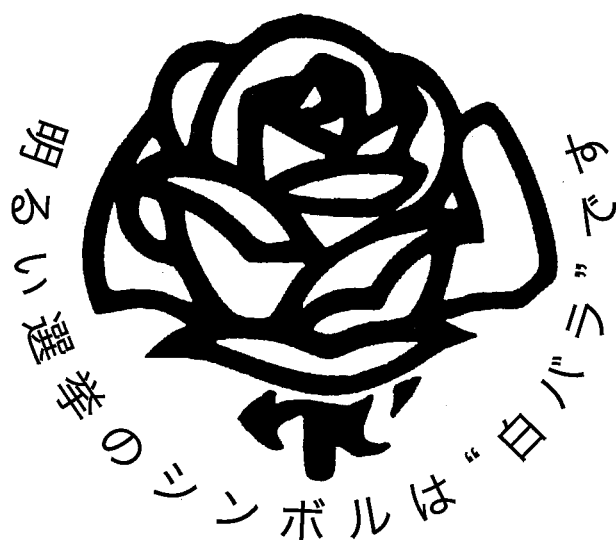


市民性教育教材(PISA型学力教材) まちづくりシミュレーションゲーム



発行 沖縄県選挙管理委員会
沖縄県明るい選挙推進協議会

教材の目的

沖縄県明るい選挙推進協議会では、2006年3月、市民性教育副読本『小さな市民の大きな力 私たちのまちづくり』を発行しました。同協議会主催の青年研修で発表された「政治や政策について、どう判断すればいいのか、どう行動すればいいのか、学校でほとんど何も習ったことがないのに、20歳になったからといって、いきなり判断しろ、投票しろと言われても、投票なんか行けるわけがない」という意見を深く受け止めて考案された教材でした。

この副読本は、単なる読み物ではなく、体験的な学習により政治的な能力の習得を目指す学習プログラムを内包する教材でしたが、その中でも、まちづくりシミュレーションゲームは、導入として開発されたものの、政治のシミュレーションと政策立案のシミュレーション、政策判断による投票のシミュレーションという3点を短時間に体験的に学習するプログラムとして、大きな評判を呼び、沖縄の小中高校及び公民館への出前講座の教材として、また、(財)明るい選挙推進協会主催の研修等の研修プログラムにおいて全国で用いられました。

今回、その中で、いろいろ指摘され明らかになった反省点をもとに、まちづくりシミュレーションゲームの部分を改定して、より使いやすいように冊子から見開きの地図帳のようなつくりにしたものが今回のまちづくりシミュレーションゲーム改訂版です。

最も大きな課題は、架空の島と想定するとしても、あまりにもリアリティがない、あまりにも地域づくりに必要と思われる情報が少なすぎるというものでした。このゲームは沖縄で生まれ沖縄で育ったゲームですので、できるだけ沖縄に近い、非常に似た歴史や地理を有する現実の島をモデルとして作り直しました。まず、この地図のゲーム盤でゲームをやってみて、みなさんのそれぞれの地域でみなさんそれぞれの地域の地図をもとに新しいゲーム盤をつくるのが良いのかもかもしれません。

楽しむことが第一です。少しリアルに改良したのも、より本気になって議論ができ、本気になって政策立案できるようにするためのものです。楽しみながら、民主政治の原則を一つづつ体験していけるようなゲームとなっています。早ければ2時間、長くても3時間あれば終了するゲームです。

学校において、実際に政治的な合意形成とはどういうものかを体験する社会科の授業の一部としては当然、民主的な態度とは何かを学習する道徳教育、グループでの合意形成力を目的とする特別活動など、多様な教育学習場面において用いられることを期待しています。とくに「生きる力」あるいはPISA型学力向上のための教材であると自負しています。また、生涯学習プログラムの中では、特に「公民」を育成する基礎的な学習プログラムの一つとして用いられればと思っています。

琉球大学附属中学校における選択社会科の授業は、このプログラムを生み出すために非常に重要な場となりました。琉球大学教育学部社会科教育研究室及び附属中学校社会科教室には、協働の教材開発者として深く関わって頂きこの場を借りて深く感謝申し上げます。

監修者 沖縄県明るい選挙推進協議会会長 島袋 純
市民性教育副読本策定委員会 與那嶺 匠 吉田 敬 平良 裕樹
里井 洋一 間 一仁
協力 沖縄自治研究会、沖縄ローカルマニフェストネットワーク
琉球大学教育学部附属中学校

誰でも楽しみながら身に付くPISA型学力

現在、国際的な学力調査で、日本全体での学力の相対的な低下が大きな懸念材料となっています。近年OECD(経済協力開発機構)によって実施されたPISA型学力テスト(特に読解力)の結果が最も悪いとされています。

このPISA型の「学力」とは何か。これまで考えられてきた「学力」とは、どう違うのか。これまでの授業方法では、そのような学力の育成が不可能であるとすれば、どのような授業を行えば身に付くのか。文部科学省のHPや参考となる図書では多数の事例・教材を紹介していますが、具体的に何をどうすればよいのか、必ずしも分かりやすく使いやすい授業の教材とは言い難い状況です。

このまちづくりシミュレーションゲームは、どなたでもできる、最も分かりやすく、最も使いやすいPISA型学力の学習プログラムの一つの教材と自負しているものです。

文部科学省の報告書『読解力向上に関する指導資料—PISA調査(読解力)の結果分析と改善の方向—』によると、PISA調査(読解力)で求める学力の定義は、「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考する能力」としています。

そのねらいは、「義務教育修了段階にある生徒が、文章のような『連続型テキスト』及び図表のような『非連続型テキスト』を幅広く読み、これらを広く学校内外の様々な状況に関連付けて、組み立て、展開し、意味を理解することをどの程度行えるかをみる」ということです。連続型のテキストとは、文と段落から構成され、物語、解説等、文章または記録などに分類できるものであり、非連続型とは、データを視覚的に表現したグラフ・表や地図などです。

それらを用いて、次のような学習の段階とプロセスが進展するとしています。

- 読解のプロセス……①情報の取り出し ②解釈 ③熟考・評価。
- 情報の取り出し……テキストに書かれている情報を正確に取り出すこと。
- 解釈……書かれた情報がどのような意味を持つかを理解したり、推論したりすること。
- 熟考・評価……テキストに書かれていることを知識や考え方、経験と結び付けること。

このまちづくりシミュレーションゲームは、物語をもつあるまち・島(連続型テキスト)を素材として多様なデータと地図(非連続型テキスト)をもとに、そこから情報を取り出し、その意味を解釈し、評価・熟考しながら、地域の発展に関連付けて再構成し、多様な解答(まちづくりの案)の可能性を開きつつ自らの主張を説得的に提案する力を養うことができます。2時間から3時間で終了するプログラムですが、資料を理解し利用し熟考せずしてゲームは終了せず、自ら地域づくりの目標を設定して、自らの知識と可能性を発達させて、効果的に地域社会に参加可能となるため力を身につけていく教材となっています。

まちづくり計画書

全体コンセプト

予算総額

税金月額 円 × 540,000 = 円

予算支出

配置したコマ	金額（億円）
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
	億円
合計	億円

学校や役所を、どこにどう配置したか
その理由：

島東部の返還地はどうか
その理由：

まちのアピールポイント

島民から役所に寄せられた声

学校の建て替えについて

中学校が老朽化して、天井や壁のコンクリートがはげ落ちています。これでは生徒達が危ないので、早く新しい学校に建て替えてください。

また中学校が遠くて、通学が大変そうです。中には遠すぎて親が車で送迎している生徒もいます。

ゴミや下水について

ゴミ処理場が無いので、ゴミの投棄が目立ちます。きちんと分別もしないで投棄されているので、悪臭や有毒なガスまで発生しているところもあり、人体に悪影響ではないか不安です。

下水はそのまま川に流してしまっていますが、飲み水として利用している川に汚い水を流しても大丈夫なののでしょうか？

返還地について

島東部の返還地ですが、劣化ウラン弾の射爆場だったと聞いています。放射性物質が撒き散らされた土地に立ち入るのは、気が引けてしまいます。また、そのような土地に観光客を招き入れるのにも問題を感じます。本当に安全なののでしょうか？

観光について

島東部の豊かな自然をウリにして、ホテルを誘致し観光を活性化させましょう。そのためには観光バスがスイスイ通ることのできる広い道路が必要です。島東部には人がギリギリ歩ける獣道しかないのので、道を拡張し舗装して、観光バスを通れるようにすべきです！

また大きな空港を作れば、東京や大阪から大型飛行機を直接島に着陸させられますし、島南部にも港を造れば、スキューバダイビングにも便利じゃないですか？

観光産業が発展すれば、仕事も増えて、若者も安心して島に残り働くことができると思います。

島の自然について

島には小さな診療所しかないため、体の弱いお年寄りや子ども、出産をひかえた妊婦はとても不安です。

沖縄本島に渡らなくても、島ですぐに高度な医療が受けられるよう、総合病院を設置してください。お願いします。

医療について

私はこの島を愛しています。島東部に広がる自然は、先祖達が守り抜いてきた貴重な財産です。お金のために自然を破壊することは先祖達にも申し訳がありません。

島東部は自然公園として保護し、なるべく道路を作ったりホテルを誘致したりするのは控えるべきです。自然は失ってからでは取り戻すことはできません。

島の概要



<島の統計>

人口：10,000人
納税者：4,500人

働いて納税している人の平均収入：年収 200 万円
各学年の児童生徒数：130～140 人程度
一家族の平均人数：4～5人

<島の地理>

- ① 沖縄本島より 10km 離れている。(那覇市より船で約 40 分、軽飛行機で約 10 分)
- ② 気候は 1 年を通して温暖であり、沖縄本島とほぼ同じ。年間降水量は 1,500～2,000 ミリ程度で、降水量は雨季の 5 月・6 月が最も多く、台風が訪れる 8 月や 9 月にも多い。冬場は乾燥しており、1 月・2 月はほとんど雨が降らない。
- ③ 水道水は川からの取水に頼っているため、雨量が少ない年は水不足になる。集落も主に川の近くに形成している。
- ④ 島北部の海は赤土の流出に悩まされており、海が土色に染まる光景が頻繁に見られる。島南部には綺麗な海が広がり、サンゴ礁を中心に良い漁場となっているほか、ダイビングスポットとしても近年、注目を集めている。
- ⑤ 島東部は米軍基地返還地であり、今は舗装していない獣道しかない森になっている。

<島の産業・経済>

- ① 主な農産物はサトウキビ、漁業もさかんで、この 2 つが島内の産業の 6 割を占める。
- ② 近年、エコツーリズムやダイビングを中心とした観光業も増えてきている。
- ③ 大きな商業施設(ショッピングセンターなど)は存在しておらず、小さなスーパーが島内にいくつか点在している。食料や日用品、簡単な衣料品は島内のスーパーでも手に入るが、それ以外は沖縄本島へ買いに行かなければ手に入れることができない。
- ④ 若者を中心にサトウキビ栽培や漁業にたずさわる者が減少し、第 2 次産業や第 3 次産業の就職先も不足しているため、島内で仕事を見つけられず困っている者も多い。
- ⑤ 1 時間に 1 本、島内の集落を 1 周するバスが走っているが、それでは不便であるため、各家庭は自家用車を 1 台所有している。観光客からは島内の交通の便が悪いとの声も多い。
- ⑥ 米軍基地ではわずかばかりの島民を雇用しているが、近年ではその数も激減している。また米軍基地に駐留する兵士が島内で遊ぶなくなってきており、兵士の来店を目論んでいた飲食店の多くが閉店に追い込まれている。

ゲームの進め方

- ① まちの中での自分の所属地域を決めましょう。まちには全部で4つの集落（北集落、東集落、南集落、西集落）があり、どの集落も人口および人口構成は同じです。所属者のいない集落をつくらないように、ゲーム参加者のそれぞれの所属地域を決めてください。
- ※ ゲーム参加者が4人を超える場合は、新たに「新北集落」と「新東集落」のコマを切り取り、「新北集落」を北集落の東側にある「☆」の位置に、「新東集落」を東集落の東側にある「☆」の位置に配置し、集落の数を調整してください。

- ② 所属地域が決まったら、ゲーム参加者同士で話し合っ、どの公共施設をどこに配置したら良いのか話し合い、コマを置いていきます。必ずグループ全員で話し合っ、全員が納得するように意見をまとめてください。誰かの勝手な意見だけで、グループの意見を決めてはいけません。

- ③ 公共施設は、海以外の陸上なら、どこに配置してもかまいません。ただし地形上の問題でコマの一部が多少、海にはみ出して置かれる分には問題はありません。

- ④ 公共施設には、配置するために必要な金額があります。配置に必要な予算は、税金としてまちに住む人々に納めてもらったお金10年分を利用します。予算の算出方法は、下の式の通りです。

$$1 \text{ 人当たりの税金額 (月額)} \times 12 \text{ ヶ月} \times 10 \text{ 年} \times 4,500 \text{ 人 (納税者数)} = 540,000$$

- ⑤ 予算をなるべく余らせないように、税金額は、本当に必要な金額に設定してください。また予算が足りなくなってもいけません。ゲームの途中で予算が足りなくなる、もしくは多く余りすぎる事に気づいたら、その場でまた予算額を決めなおしてもかまいません。

- ⑥ 中学校と役所は、必ず新たに設置してください。なお、中学校も役所も現在ある場所に設置しても構いませんが、その場合は土地の面積の問題（中学校の拡張、駐車場など役所関連設備の拡張）により、現在の役所と中学校の敷地を合わせた土地に、新しい役所か中学校のどちらか1つしか設置できません。

- ⑦ 交番・消防署および医師1人が駐在している小さな診療所は、全て役所の中に併設されます。また島の西部、赤く着色されている地帯は米軍基地で、住民は立ち入れません。

政治参加を体験できる！ まちづくりゲーム

このゲームは、まちの地図の上に参加者全員で話し合ってコマ（公共施設）を置き、より住みたくなるようなまちをつくるゲームです。まちづくりの話し合いを通して、政治参加を体験してみよう！

まちづくりゲームの基本ルール

プレイ人数：4～6人（4人推奨）



このゲームは、海に囲まれた島のまちに、新たな公共施設を設置していくゲームです。公共施設を作るためには、お金がかかります。まちの住民が10年間、税金として納めたお金を使って、公共施設を設置していきます。

まちの総人口は10,000人、働いていて税金を納めている人は、4,500人です。

人口構成

0歳～14歳	15歳～64歳	65歳以上
2,000人	6,500人	1,500人



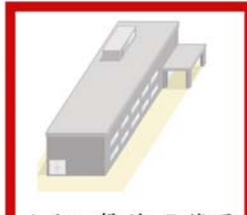

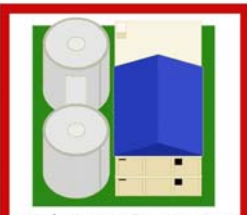
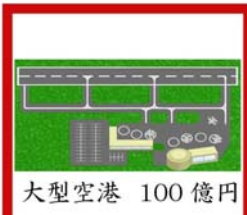
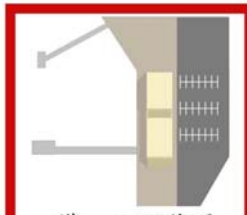
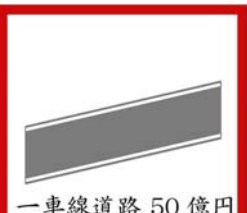
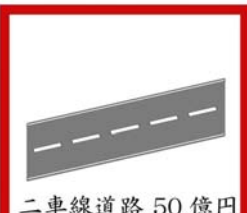



コマ（公共施設）の配置に必要な金額

コマ（施設）	配置金額	施設の特徴
中学校	10億円	子どもたちが通いやすい様にした
下水処理場	10億円	少し臭い
ゴミ処理場	20億円	かなり臭い 1km以内にある家は窓を開けられない
役所（小）	5億円	利用しにくく、住民が自由に利用できるスペースが全くない
役所（大）	20億円	利用しやすく、住民が利用できる会議室や小ホールも備えており、図書室も備えている
大型空港	100億円	大きい旅客機が着陸できる
港	100億円	船が停泊、出航することができる
道路（小）	50億円	環境に優しいが、道幅が狭くバスはすれ違えない
道路（大）	50億円	道幅が広く、バスもすれ違えるが、環境に悪い
開発用地	5億円	何らかの目的の為に、土地の上に建物を建設できるよう土地を整備することができる（用地整備のみ）
公立病院	20億円	入院や手術、精密検査など充実した医療が受けられる

※ 空港・港と道路（大）の整備には国からの補助金（国庫支出金）が出るため、地方自治体の自己負担は建設総額（空港：1,000億円 港：400億円 道路：100億円）より少なく済み、安くなっている。

施設カード

(線に合わせてはさみで切り取って使おう！)

 <p>中学校 10億円</p>	 <p>中学校 10億円</p>	 <p>大きい役所 20億円</p>	 <p>小さい役所 5億円</p>
 <p>ゴミ処理場 20億円</p>	 <p>下水処理場 10億円</p>	 <p>大型空港 100億円</p>	 <p>港 100億円</p>
 <p>一車線道路 50億円</p>	 <p>二車線道路 50億円</p>	 <p>新北集落</p>	 <p>新東集落</p>
 <p>公立病院 20億円</p>	<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>	<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>	<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>
<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>	<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>	<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>	<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>
<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>	<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>	<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>	<p>開発用地 整備費用 5億円</p> <p>整備目的： <input type="text"/></p>



2 km



イメージキャラクター
「選挙のめいすい(明推)くん」